科学研究費助成事業 研究成果報告書



平成 28 年 6 月 17 日現在

機関番号: 32601

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2011~2015

課題番号: 23500914

研究課題名(和文)農村からの庶民住生活デザイン近代化の研究

研究課題名(英文) Examination of the modernization of lifestyle design in Japan originated in the

rural.

研究代表者

黒石 いずみ (KROISHI, Izumi)

青山学院大学・総合文化政策学部・教授

研究者番号:70341881

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文):農村住宅や庶民住宅の近代化と工業化やデザイン関連の諸機関資料や既往研究と必要な理論研究は成果を得た。しかし初年度の東日本大震災で、本研究の意義を確信すると同時に、文献や既存資料ではわからない問題、つまり生活近代化の諸事象の社会的連関とは即ち、デザインが生命に関わり、災害や経済・政治に容易に影響を受け、その道具になる事と実感した。

故に研究の方法を修正し、庶民住宅の生活デザイン近代化の問題を現代の被災地の復興と連続して捉え、新たに食空間を中心とした生活習慣、仮設住宅の住まい方と建設技術、地域の歴史景観とコミュニティ、都市と地方の生活文化交流の調査等を行った。歴史と現代を繋ぐ課題として発展させる。

研究成果の概要(英文): I could have examined the existing scholarship and the targeted primal materials of the issues and histories of the modernization and industrialization of rural houses and common people's houses in the twentieth century Northern Japan in various institutions. However, due to the great earthquake in 2011, I recognized fundamental gaps between the things known from books and the real situation of people's life in domestic space. The social integration of the various aspects of the modernization of lifestyle means that design directly affects on people's life, receives spontaneous impact from economic and political factors, and becomes their instrument. Thus, I modified the method of my research to unify the historical issues of housing with those currently happening in the reconstruction process from disaster, by conducting research of the habitual sustainability in eating space, of the technology of shelter space, and of the transmission of living culture between the rural and urban.

研究分野:住宅史、デザイン論

キーワード: 庶民住宅史 農村 生活改善 工業化 インテリア 近代化 災害 習俗

1.研究開始当初の背景

科研費によるイギリス田園都市運動の日本への影響研究と、青森県や山形県での農村調査とその近代住宅への影響に関する研究から、従来の日本住宅と生活近代化の研究が、都市の中上流住宅を中心に形態デザインと西洋・合理化傾向の観点でなされてきたことに問題を感じた。日本の人口の多くが戦後まで暮らし、その住宅観の基盤であった農村住宅の近代化を調査分析し、日本住宅史を捉え直したいと思った。

また、カルチャラルスタディなどの知見を 活かして建築学や社会学を総合し、日常的 デザインが生まれる社会・文化的状況を研 究する方法論を構築したいと考えた。

2.研究の目的

具体的な研究目的は、 農村住宅を日本の近代建築史に位置付け インテリア研究を生活空間研究として行う方法論を確立し 近代における生活改善と工芸デザインや海外のデザイナーの活動の関係を整理し、 地方にある戦前から戦後にかけての関連資料を調査して、日本の独自な現代生活デザインの特徴を明らかにすることであった。

しかし初年度に起きた東日本大震災の影響を受けて、途中からは、急激な住まいの移転による生活習慣や住宅の技術的・空間的変化が人々に与える影響や地域文化との関係を、現地調査と理論研究で行うことも目的に加えた。

3.研究の方法

生活様式と空間造形の相互関係の変化に注目し、 当事者のインタビュー、 文献研究の他、 仙台工芸指導所の事業と県の副業振興や生活改善事業の関係 積調の実験住宅や改善住宅 シャルロット・ペリアンや柳・河合による地域工芸調査の実態との近代デザインへの応用 山口弘道の活動と思想 デザイン産業と農村生活文化の関係 庶民住宅の状況と住政策 メディアの役割 戦後の住宅への影響、などを調査しまとめる。

さらに事例を収集して記述するだけでなく、 社会思想や文化、政治的背景や産業との関 係を重視し、海外の事例との比較も行い、 生活デザイン理論として構築することを目 指した。

4. 研究成果

上記の渚機関の資料や既往研究、関連領域の 理論研究は多くの成果を得た。しかし初年度 の東日本大震災で、本研究の意義を確信する と同時に、文献や既存資料ではわからない深 刻な問題を感じた。当初予測した生活近代化 の諸事象の社会的連関性とは即ち、デザイン が生命に関わり、災害や経済・政治に容易に 影響を受け、その道具になる事を実感した。 故に本研究の方法を修正して、被災地での生 活デザイン近代化の社会問題を現代の復興に連続する事と考え、新たに食空間を中心とした生活習慣、仮設住宅の住まい方と建設技術、地域の歴史景観とコミュニティ、都市と地方の生活文化交流の調査を行った。今後も新たな科研課題として継続発展させる。

5 . 主な発表論文等

(雑誌論文)

2016

- 1 .<u>Izumi Kuroishi</u>, "Social criticisms in the ideas and works by Japanese post-war architectural group New Architectural Union,"Josai Journal Special Issue Design and Society in Japan. (発行予定) 查読付 き
- 2. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Urban Research and Planning in the 20th century Japan: Wajiro Kon's "Modernology" and its descendants," Journal of Urban History, Special Issue, edited by Carola Hein, SAGE, April. 557-581,査読付き
- 3. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Introduction and translation of Kon Wajiro's theories of design," edited by Paul Stirton, West 86th: A Journal of Decorative Arts, Design History, and Material Culture, New York, Bard Graduate Center, January, 190-216. 査読付き

2014

- 4.<u>黒石いずみ、「世界が認める考現学」「都市のスピリッツを探す人たち」『東京人』都市出版、4月号14-18,22-24,査読なし2013</u>
- 5. <u>Izumi Kuroishi</u>, Sensing Cities NY (co-authored with Victoria Marshall) 『青山 学院総合文化政策学紀要 6号』pp137-174査 読なし
- 6. <u>黒石いずみ、</u>「住宅特集」中村橋の家研究 4月号 pp114-123, 5月号 pp142-153 査読な し
- 7. <u>黒石いずみ、</u>建築学会研究部会報告書農村 計画部会報告書「被災地の住宅調査と復興計 画の目的と関係性について:東北地方農山漁 村住宅調査の意味を再考する」,39-40, 査読 なし
- 8. <u>黒石いずみ、</u>"建築学会研究部会報告書建 築計画部会報告書「住宅計画と住まい方調 査:被災地の住宅復興に向けて」,41-42,査 読なし

2012

9. <u>黒石いずみ、「今和次郎における「日本の民家」の史的位置づけと新視点」、日本生活学会協議会(石川初、中谷礼仁と共著)生活学会論叢</u>, 29-30, 査読なし

2011

10. <u>黒石いずみ、</u>『東北地方農山漁村住宅改善調査報告書』III(1941)が東北大震災復興に指し示すもの_建築学会農村計画委員会研究論文集、pp49·52 査読なし

- 11. <u>黒石いずみ、「東北大震災後の現地調査の</u>意味」建築学会景観デザイン論研究論文集pp69-70 査読なし
- 12. <u>黒石いずみ、</u>「今和次郎と生活改善運動『20 世紀の日本における生活習慣と物質文化の近代化 / 西洋化——国民生活に対する「生活改善運動」の具体的影響、および西洋化運動における政府の役割』、大阪民俗博物館研究企画、5月(アンヌ・ゴッソ編)(出版予定)査読なし

(学会発表)

2014

- 1. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Lifestyle Surveys and Regional Planning in Tohoku, a Fishing Area Damaged by an Earthquake," European Association of Urban History, Nova University, Lisbon, September 3rd 9th.
- 2. <u>Izumi Kuroishi</u>,"Ten Square Foot Hut and Confabulations of the Origin of Japanese house with 6 stories", The Confabulations Symposium, Virginia Tech University, Alexandria, March 27-28 2013
- 3. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Creating urban theory from the reality: Japanese cases between the 1960's and 1970's", The Place of Theory Conference, Silpakorn University, Bangkok, August
- 4. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Negative heritage and the role of ethnography: memory of 311", Anthropological Association of America, November, Chicago, 11.20-11.24 2012
- 5. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Invention of a national prototype house," EAAC, January, Hong Kong
- 6.<u>Izumi Kuroishi,</u>"Fuzoku Kenkyu (Fashion, Lifestyle Study) and Urban Planning in the Early 20th Century Japan," IPHS, July. Saopaolo, Brazil,
- 7. <u>Izumi Kuroishi,</u> "Cultural methodology of Branding Garden City," AJC, September, Cambridge, UK 2011
- 8. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Eluding barriers to make an identity in the space of Tokyo: Field Work of everyday," AAS-ICAS, April, Hawaii
- 9. <u>Izumi Kuroishi</u>, Materiality and Spatiality in the construction of social space in Tokyo," EAAC, May, Singapore
- 10. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Marginal Urban Villages in Tokyo: the catalytic role of the historical public housings in Aoyama," EAJS, September, Estonia Tatlin,
- 11. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Shinjo Matsuri: Constructing community through construction of decorated float," DIJ workshop "Well-being in ritual practice"

October, Tokyo (講演)

2016

1. <u>Izumi Kuroishi, Small</u> houses with big dreams; Social history of Japanese prefabricated house, Auburn University, April

2015

- 2. <u>黒石いずみ、「</u>建築理論の始まる場所」千葉大学工学部建築学科連続講演会 12月
- 3. <u>Izumi Kuroishi</u>, ^r Design for Society, Design from Society: The socio-political significance of minimum-size housing and prefabrication in Japan in the mid-twentieth century JCCA public lecture, Montreal, August
- 4. <u>Izumi Kuroishi</u>, 「Japanese rural house and garden」 McGill University lecture, Montreal, September
- 5. <u>黒石いずみ、</u>『東北震災復興と今和次郎』、 地域社会学会研究会、東京、7月 2014
- 6. <u>Izumi Kuroishi</u>, "From Modernology to Frottage," Sense and Sensibility, Saint Joseph University, Macau, September 21
- 7. <u>Izumi Kuroishi,</u> Imaging Space through objects in Japanese houses, Parsons New School, NY, March

2013

- 8. <u>黒石いずみ、</u>日本生活学会大会シンポジウム講演 [生活デザインの視点から生活を考える]6月
- 9. <u>黒石いずみ、「生活空間から社会を変える</u> 試みへの問い:戦前期東北・朝鮮生活調査と 東北大震災復興に思う事」北海道大学講演 2月

2012

- 10. <u>黒石いずみ、</u>青山学院大学総合研究所シンポジウム発表「災害に強い住まいと都市づくり」6月
- 11. <u>黒石いずみ、「</u>考現学と民族学: 人々の生活の理解はどう可能か」国立民族学博物館講演会, 5月、大阪
- 12.<u>黒石いずみ、</u>埼玉県浦和市講演「コミュニティに活かす総合文化力の提言」, 9月
- 13. <u>黒石いずみ、</u>日本生活学会大会「日本の民家から今学ぶもの」パネル講演、5月
- 14. <u>黒石いずみ、</u>芝浦工大建築学科講演会「今 和次郎と昭和初期日本の都市建築」、9月
- 15.<u>黒石いずみ、</u>大妻女子大学家政学科講演会「ファッションと都市空間」、10月
- 16. <u>黒石いずみ、</u>武庫川女子大学生活美学研究所講演会「震災の影から見えてきたもの」、7月
- 17. <u>黒石いずみ、</u>「生活デザイン論:今和次郎の仕事の意味と現在」パナソニック美術館公 開講演、4月

(図書) 2016

1. Izumi Kuroishi, " Object talks :

Confabulation of dwelling space in the texts of Kamo no Chōmei and Wajirō Kon," Confabulations: Storytelling in Architecture, edited by Paul Emmons, Marcia Feuerstein, Carolina Dayer, Ashgate (出版予定)

- 2. <u>Izumi Kuroishi</u>, "Japanese Popular Culture and its Urban Space, "Japanese Popular Culture, edited by Toby Slade and Alisa Freedman, Routledge (出版予定)
- 3.<u>Izumi Kuroishi,</u> Bloomsbury Encyclopedia of Design, edited by Suga Yasuko, Berg (出版予定)
- 4. <u>Izumi Kuroishi</u>, Encyclopedia of Asian Design, edited by Haruhiko Fujita, Bloomsbury Publishers (出版予定) 2015
- 5.<u>黒石いずみ、『</u>東北震災復興と今和次郎: ものづくり・くらしづくりの知恵』青山学院 総合研究所叢書平凡社
- <u>6. Izumi Kuroishi,</u> "The concept of civic art and cultural branding in the Garden Suburb", AJC2012 proceeding, AJC, pp109-138

2014

- 7. Izumi Kuroishi, Sense and Sensibility, catalogue of the exhibition at Ponte 9. Macau, 2014/9/21-10/19, co-authored with Daniel Thomas and Jilly Traganou
- 8. Izumi Kuroishi, Constructing the Colonized Land: Entwined Perspectives of East Asia around WWII, Izumi Kuroishi edited and authored, Ashgate, pp.1-10, 215-252
- 9. Izumi Kuroishi, Design and Disaster, co-authored with Jilly Tragonou, catalogue of the exhibition at Parsons New School, NY

2013

- 10. <u>黒石いずみ、</u>『都市開発における住宅地域を中心とした居住空間継承と考現学手法による生活実感調査手法の研究』一般財団法人都市の仕組みと暮らし研究所報告書 82 ページ
- 11. <u>黒石いずみ、</u>『ICHB インテリア辞典, Maruzen,pp168-180 (渡邊秀俊 他編纂) 2012 年
- 12. <u>黒石いずみ、「</u>今和次郎にとっての東北地方」「今和次郎と考現学:世界規模でとんがっていた知性」『今和次郎と考現学』、河出書房新社、pp22—37、153-159
- 13. <u>黒石いずみ、</u>『東北近代文学事典』(共著)、 勉誠出版
- 14. <u>黒石いずみ、「</u>災害に強い社会と都市づく り」『災害と人間~核時代の生そして再生を 問う~』青山学院総合研究所シンポジウム報 告書(本間照光編纂、共著),pp51-78 2011 年
- 15. <u>黒石いずみ、「インテリア資料集成」</u>(高 橋鷹志他 共著) 丸善出版、1月, pp92-97、

140-159

- 16. <u>黒石いずみ、</u>「民家論から住居論へ: 今和 次郎の『農村住居の改善』『暮らしと住居』 解題、『日本住宅文献復刻』、柏書房、 pp475-503
- 17. <u>黒石いずみ、「</u>モダンデザインと今和次郎」 『今和次郎採集講義』共著、青幻社、11 月, pp45-56 他

6.研究組織

(1)研究代表者

黒石いずみ (KUROISHI, Izumi) 青山学院大学・総合文化政策学部・教授

研究者番号: 70341881